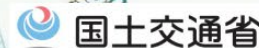


白馬MaaS(交通最適化)(長野県白馬村)

買い物・観光×交通



事業実施主体

【共創プラットフォーム】 チャレンジ白馬

【実施主体】 アルピコ交通株式会社

【共創パートナー】 白馬村 (自治体)

SWAT Mobility Japan株式会社 (交通)

BIPROGY株式会社(その他)

信州大学 (教育) 他

地域課題

白馬村は企業売上高の65%を占める等「観光」が主要産業であり、観光客 (主に外国人観光客) や住民 (村内の住民や観光関連従事者含む) の村内移動手段対策が課題となっている。

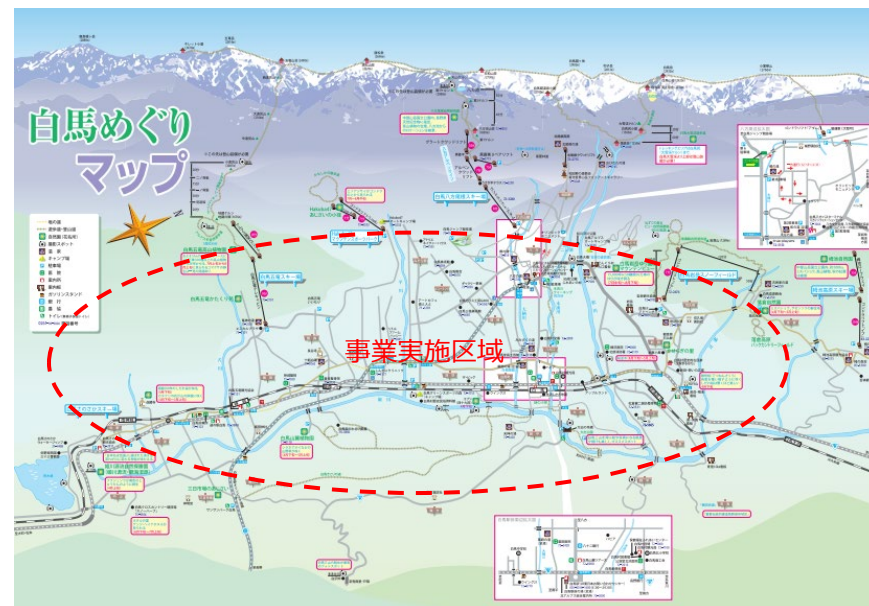
実証事業の内容

観光客+住民向けのAIオンデマンド交通を運行する。これに飲食店の予約サービスや、小売店と連携したサービスを実装する。さらに、マイナンバーカード連携により住民/観光客の料金体系を切り分け、サブスクモデル等、最適な交通×飲食×小売サービスを創出する。

今後の展開

令和6年度に各サービスを有償化し、地域交通を核とした共創モデルの自走化による最適な地域交通+αのサービスを実証する。そして令和7年度の本格自走を目指す。

事業実施区域



事業体制

